

第19回宮城県緩和ケア研修会プログラム

研修会企画責任者:児山 香

日程:2011年09月18日(日)、09月19日(月・祝)の2日間、3名×9グループ

会場:東北厚生年金病院大会議室

1日目 2011年09月18日(日)

区分	分野	内容	備考	プレテスト 及び解説	最低必要 単位	宮城県 設定単位	担当講師・ファシリテータ	時間帯
		開催の挨拶					田林暁一(院長)	8:50-8:55
		オリエンテーション					児山 香	8:55-9:00
A	① 疼痛緩和(1)	がん性疼痛の機序・評価およびWHO方式がん性疼痛治療法の概略	がん性疼痛の評価、薬物療法の実際(処方箋の書き方)、非薬物療法・ケア	○	1単位 (90分)	1単位 (90分)	小笠原鉄郎(宮城県立がんセンター)	9:00 -10:40
		がん性疼痛の治療法の実際	非薬物療法・ケア医療用麻薬の副作用対策・神経ブロックも含む(15分) 放射線治療・IVR(30分)	○	0.5単位 (45分)	0.5単位 (45分)	小笠原鉄郎(宮城県立がんセンター) 小山周樹(東北厚生年金病院)	10:40 -10:55 10:55 -11:25
	③ 地域連携・在宅ケア	がん患者の療養場所の選択、地域連携、在宅緩和ケアについて			-	0.5単位 (45分)	佐藤隆裕(緩和ケアクリニック仙台)	11:25 -12:10
		昼食・休憩						12:10 -13:10
B	④ 疼痛緩和(2)	がん性疼痛に関するワークショップ	ア)グループ演習による症例検討1(がん性疼痛を持つ患者の評価及び治療)	アイスブレーキングあり	2単位 (180分)	2単位 (180分)	講師:高橋通規(仙台医療センター) ファシリテーター:日下潔、丹田滋、中保利通、佐藤隆裕、今野文博、千葉久美子、児山香、綱木美由紀、三浦伸義	13:10 -16:10
			イ)グループ演習による症例検討2(がん性疼痛に対する治療と処方箋の実際の記載)					
			ウ)ロールプレイングによる医療用麻薬を処方するときの患者への説明の実際					
		1日目のまとめ・連絡				1日目 計4単位	児山 香	16:10 -16:20

2日目 2011年09月19日(月・祝)

区分	分野	内容	備考	プレテスト 及び解説	最低必要 単位	宮城県 設定単位	担当講師・ファシリテータ	時間帯
		オリエンテーション					児山 香	8:50-9:00
C	⑤ 疼痛以外の身体症状	呼吸困難・消化器症状等の身体症状に対する緩和ケア	消化器症状(45分)	○	0.5単位 (45分)	1単位 (90分)	児山香(東北厚生年金病院)	9:00 -9:45
			呼吸器症状(45分)				森川直人(東北厚生年金病院)	9:45 -10:30
⑥ 精神症状に対する緩和ケア	不安、抑うつ及びせん妄等の精神症状に対する緩和ケア	気持ちのつらさ、せん妄	○	0.5単位 (45分)	1単位 (90分)	伊藤文晃(東北大学病院)	10:40 -12:10	
		昼食・休憩・情報交換						12:10 -13:10
D	⑦ コミュニケーション技術	がん医療におけるコミュニケーションについてのワークショップ	講義	○	1単位 (90分)	2単位 (180分)	講師:三浦伸義(東北厚生年金病院) ファシリテーター:千葉久美子、渡邊裕美、大野高志、近藤直洋、伊藤文晃、小林奈津子、児山香、綱木美由紀、金山恵梨	13:10 -16:10
			ア)グループ検討による患者への悪い知らせの伝え方 イ)によるロールプレイングによる患者への悪い知らせの伝え方についての演習					
		2日目のまとめ・連絡				2日目 計4単位	児山 香	16:10 -16:20